

小野田地域交流センターだより

おのだ

令和6年4月1日 第1号

山陽小野田市栄町9番25号

ホームページ

電話 83-2775

ファックス 83-8361



メール onoda-center@city.sanyo-onoda.lg.jp

令和6年度も、よろしくお願ひいたします

春のあたたかな季節を迎えました。小野田地域交流センターの花壇の花が少しずつ美しく咲き始めていますので、ぜひ見に来ていただけたらと思います。

小野田公民館から「小野田地域交流センター」になり、はや2年が経ちました。昨年度は、従来の公民館が行ってきた社会教育の推進に加え、地域運営組織（RMO）の立ち上げに向けて、地域の代表の方々と検討会を重ねてきました。地域運営組織の立ち上げは、いよいよ今年度10月を予定しています。今後も、地域交流センターが生涯学習の充実と合わせて、持続可能な「地域づくり」の拠点となる施設として、取り組んでまいります。令和6年度も引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。

（センター長 矢野 憲文）



令和6年度の主催講座のお申し込み お待ちしています！

5月7日（火）の「ヨガ&ピラティス教室」を皮切りに、小野田地域交流センターの主催講座が始まります。今年度は、4月の自治会便で、世帯ごとに主催講座のチラシを配布して、受講生の募集をしています。この春から、何か興味のあるもので、一緒に学んだり交流したりしてみませんか？電話やメール等でのご連絡をお待ちしています。5月からの主催講座は、以下の通り（詳しくはチラシで）です。それ以降の講座は、そのつどチラシ等でご案内・募集いたします。

- 「教養講座」（全8回）（第1回は5/14（火）「ピアノの調べ（ピアノ演奏とトーク）」神木 涼先生）
- 「ヨガ&ピラティス教室」（全8回）
- 「子育てサロン」（全7回）
- 「パソコン教室」（全10回）
- 「スマイルエイジング教室」（全8回）
- 「英会話教室」（全5回）
- 「ガーデニングと家庭菜園教室」（全9回）

気持ちよく歩きました！「小野田地区ふるさとウォーキング大会」

3月9日（土）に、小野田ふるさとづくり協議会主催の「小野田地区ふれあいウォーキング大会」が行われました。沖中川・六十番自治会館を出発して、風水害救援感謝碑、千富荘跡、伊藤病院前、山手倶楽部・笠井真三旧宅、住吉神社、笠井順八翁像などを巡りました。沖中川・六十



番自治会館に戻って、おむすびや民生委員・福祉員の方々のご準備してくださった豚汁をおいしくいただきました。また、ビンゴゲームも楽しみました。参加者のふれあいや三世代交流、健康増進、地域を知る機会になりました。



小野田地区防災訓練が行われました

2月25日(日)の午前中、小野田小学校にて、小野田地区セーフティネットワーク主催の「防災訓練」が行われました。最初に、防災士の福本則夫先生からの講話で、シェイクアウト訓練や、家具の転倒・落下等への対応、避難経路の確保や在宅避難に備えることなど教えてもらいました。次に、グループに分かれてAED 救急法や段ボールベッドの作り方、毛布でガウン・タンカにする方法や三角巾の使い方、煙体験や水消火器の使い方など、体験をしながら学びました。災害用伝言ダイヤル「171」の体験もさせてもらいました。

いつ訪れるかわからない災害に対して訓練をして、小野田地区全体で防災の意識が高まりました。



自分の土地のリスクを知る「防災講座」

3月12日(火)に、小野田地域交流センターの主催講座「防災講座」を開催しました。講師に、防災アドバイザー・防災士の中込 誠先生に来ていただき、「自分の土地のリスクを知る」をテーマに教えていただきました。小野田地区の地震や津波、高潮や土砂崩れなど、どのような災害が起きる可能性があるのか、ご準備くださったたくさんの資料をもとに説明してくださいました。最後に、警戒レベルに応じて、どのような避難準備や行動をとればよいのか、「マイタイムライン」の作成の仕方も教わりました。

万が一の災害の際に、まずは命を守ることの大切さ、避難する際の気を付けることなど、多くのことを学ぶことができました。



小野田小学校「タイム☆トレジャー20」20歳への軌跡 セレモニー

3月11日(月)に、小野田小学校の体育館で、「タイム☆トレジャー20」のセレモニーがありました。小野田小学校6年生の児童が卒業前に、二十歳になった時の自分にあてたメッセージを、小野田地区自治会協議会長と小野田地域交流センター長に、ケースに入れてクラスごとに預けました。坂本会長から卒業前の6年生に、タイムトレジャーの概要や中学校でも頑張してほしいことなどのお話がありました。

タイムトレジャーのケースは小野田地域交流センター事務所のボックス(鍵付き)に厳重に保管しています。8年後の二十歳になった時の開封が楽しみです。

